

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月1日

事業所名 ああるレインボーDuo谷塚駅前教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		人数が多い時や個別とグループを分ける際、仕切り等を活用している	集中できる活動の組み合わせを細かく考えて集中できるようにしていく
	2	職員の配置数は適切である	5	1		午後の個別指導に関しては、担当児童の時間のみの出勤をしたり、適切な配置数になるように工夫している	午後、土曜日で負担が偏らないように人員配置を適切にしている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1			歩行困難な児童でも移動しやすい環境を整備しているが、車いすでも入室がしやすい環境整備をしていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			毎日の報告書作成時に、振り返りを行うようにしている	毎回の打ち合わせ、振り返り会議を今後も継続していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			保護者の意見を共有し改善に繋げている	今後も、保護者の意見を会議で共有して業務改善に繋げていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1			会社のホームページで公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1			評価結果を共有していくようにする
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			社内で案内されている研修以外に個人で自主的に研修に参加している	それぞれが受講した研修や本を読んで得たことなどを、会議で共有し、支援に活かすことを今後も継続していく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			定期的に行われたものをスタッフで共有している	今後もアセスメント表を作成し、スタッフが共有できるようにする
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		状況を細かく把握できるアセスメント表を使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		・グループごとに固定せず、他のグループの事をみんなで相談するようにしている ・みんなで相談してアイデアを出し合っている	余裕を持って次月のプログラムが作成せきよう、それぞれのグループの会議の日程を固定していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・個人活動に合わせた活動(電車に乗るなど)を取り入れて、外出先でのルールを学ぶなどたくさん取り入れている ・過去のものを参考にしながらかぶらないようにしている ・楽しめるプログラムになるよう工夫している ・固定化してしまうプログラムの時は、内容に変化を持たせている	児童の課題に合ったプログラムがより楽しくできるように、自分で考えて選択できる支援を行っていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2		学習支援については、宿題を持参してもらい、プリントや工作、自由課題を内容によって支援課題に組み込んでいる	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			個別と集団の課題や支援方法を具体的に計画に入れて作成している。個人と集団で共通する課題をプログラムに入れている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			毎日必ず行っている。児童一人一人の近況などの共有を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			・時間がしっかり取れないことがあるので、片付けや記録の時間にも話せるようにしている ・状況別になるが、細かく分かりやすく伝えるようにしている ・全員参加の話し合いがなかなかできないので、会議ノートを作っている	・午前中の支援後に、すぐに午後の支援の準備があるスタッフもいるので、隙間の時間を大事にして効率的に会議を行っていく

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			毎回記録を作成し、担当が変わっても児童の状況や支援の課題が理解できるようにしている	今後も分かりやすい記録を作成している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			定期的にモニタリングを行い活動のステップアップに繋げている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	2		型にはめず、柔軟は組み合わせで支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			管理者や、支援担当者など、子どもの状況を把握している者が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			学校担任と、会議、電話連絡を行い、連携を図っている	学校と連携する機会をもっと増やしていきたい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	1	医療的ケア児はいないが、歩行困難な児童の支援方法について医療機関からのアドバイスを保護者を通して聞いている	医療的ケアが必要な児童は利用していないが、情報として詳しく聞くように今後もしていきたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	1		必要があれば、過去に利用していた施設との情報共有も行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	1	放課後デイサービスの利用は6年生までとなっている必要があれば情報提供をしている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		専門機関との連携を深め頻繁に情報共有をしている	研修にも積極的に参加できる業務時間の調整を行っている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	3	ゴミ拾いや、買い物体験を通して地域との交流を図っている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	2		参加の機会を作っていきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			受け入れ時、振り返りの際、子どもの状況を聞き、支援課題に組み込んで相互理解を図っている	グループの振り返りの際にも児童の様子を聞いたりしていきたい
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	1	ペアトレは行っていないが、都度、相談・助言を行っている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時に説明したり、閲覧できるファイルを作っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		受け入れ時、振り返りの際、子どもの状況を聞いている 連絡帳アプリでの質問相談には即、返事をするようにしている。面談が必要な場合も近日中に機会を設けている	今後も、相談しやすい関係性を築き、保護者の負担を減らしていきたいように信頼関係を築いていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	2		グループ指導の保護者同士が連携できる機会などを考えていきたい 希望により、保護者交流の場を検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		苦情解決体制はあり、契約時に保護者にも説明しているが苦情等にはこれまで至っていない	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			月に一度おたよりを発行し、連絡や報告。児童の様子がわかりやすいように、グループごとに記入して保護者が読んで楽しいものに変えた	今後も、読みたくなる内容のおたよりを発行していく

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

	35	個人情報に十分注意している	6			個人情報にかかわるもの持ち出しはしないようにしている 鍵付きのロッカーに保管している	個人情報保護により一層気をつけていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			分かりやすい言葉や事例をあげて意思の疎通ができるように配慮している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	4		コロナの影響もありできていない 保護者の希望があれば検討していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		毎月、火事、地震、水害などの避難訓練を行っている	保護者にもっと詳しく周知できるようにしていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		午前は月1回で行っている。 午後はグループ指導で行うようにしている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			会社の研修に全員参加している	最低、年に一回の研修を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			虐待研修で話し合い、保護者に口頭で説明するようにしている	スタッフ間で共有していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			給食はないが、買い物体験などの時にアレルギーの情報を確認している	コロナが落ち着いたら、調理体験も検討しているので、アレルギーについて確認を徹底していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			その都度報告し、会議で共有して未然に防ぐようにしている	